

NEWS RELEASE

フジフィルム スクエア 企画写真展
石川直樹写真展「ASCENT OF 14 2001-2024」
～8,000メートル峰 14座への旅～

2025年6月



©Naoki Ishikawa

2025年8月29日（金） – 9月18日（木）

会場：フジフィルム スクエア 入館無料

■ 写真展の見どころ

- ・ 写真家の石川直樹氏は、23歳の時に初めてチベットの大地に降り立ち、ヒマラヤへの長い旅への第一歩を踏み出しました。2001年のエベレスト遠征を皮切りに、8,000メートル峰14座に登りながらフィルムカメラで撮影を続け、2024年のシシャパンマ登頂により、14座の完全登頂を達成しました。
- ・ 本展は、最初の遠征で撮影されたポジフィルムをはじめ、展示作品の多くが初公開の作品となります。23年間にわたる石川氏のヒマラヤでの足取りを、大きく引き伸ばされた約70点の写真群によって振り返ります。

■ 写真展概要

フジフィルム スクエアでは、8月29日（金）～9月18日（木）まで、写真家 石川直樹氏の写真展「ASCENT OF 14 2001-2024 ～8,000メートル峰 14座への旅～」を開催します。

本展のタイトルが示す「14座」とは、ヒマラヤ山脈とカラコルム山脈にまたがる8,000メートル峰の14の山々を指しています。石川氏は23歳の時に初めてチベットの大地に降り立ち、ヒマラヤへの長い旅への第一歩を踏み出しました。2001年のエベレスト遠征を皮切りに、8,000m峰14座に登りながらフィルムカメラで撮影を続け、2024年のシシャパンマ登頂により、14座の完全登頂を達成しました。

本展は、最初の遠征で撮影されたポジフィルムをはじめ、展示作品の多くが初公開の作品となります。23年間にわたった石川氏のヒマラヤでの足取りを、大きく引き伸ばされた約70点の写真群によって振り返ります。

■ 写真家からの写真展紹介

ぼくは確かにこれらの場所に立ち、写真に写っている風景を見た。これは理屈じゃない。ここにある写真群は、小手先の表現などではなく、まごうことなき自分の生の記録である。30年間にわたって地球上のあらゆる地域を旅してきた。中でも、ヒマラヤに通った日々は最も濃密な体験/経験として身体の奥底に沁みこんでいる。忘れるわけがないのだが、しかし、記憶はどうしても薄れる。両手で丁寧にすくった水は、それがどんなに大切な水だとしても、いつしか指の隙間からこぼれ落ち、最後には感触しか残らない。

忘れたくない。あの苦しさと喜びを忘れたくない。いくつもの出会いと別れを忘れたくない。だから、ぼくはつぶさに写真を撮った。ここにあるのは、自分が死ぬまで、暗闇を照らし続ける光源のような日々の記録である。

■ 開催概要

写真展名：フジフィルム スクエア 企画写真展

石川直樹写真展「ASCENT OF 14 2001-2024」

～8,000メートル峰 14座への旅～

開催期間：2025年8月29日（金）～ 9月18日（木）会期中無休

（開館時間：10:00～19:00・最終日14:00まで・入館は終了10分前まで）

※ 写真展はやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。

会場：フジフィルム スクエア内、富士フィルムフォトサロン 東京 スペース1、スペース2、ミニギャラリー

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3（東京ミッドタウン ミッドタウン・ウェスト1F）

TEL 03-6271-3350（受付時間：平日 10:00～18:00）

URL <https://fujifilmsquare.jp/>

※ 写真展情報は、開催日の前月から 富士フィルムウェブサイトにて、ご案内しています。

※ 祝花はお断りいたします。



入館料：無料 ※ 企業メセナとして実施しており、より多くの方に楽しんでいただくために入館無料にしております。

作品点数：カラー 約70点（予定）

サイズ：730mm × 900mm、900mm × 1,120mm、1,200mm × 1,490mmを予定

・フィルムによる作品。

・展示作品は、描写性の高い富士フィルム製の「銀写真プリント」を使用。

巡回展：富士フィルムフォトサロン 大阪 2026年5月15日（金）～ 5月28日（木）（予定）

主催：富士フィルム株式会社

後援：港区教育委員会

■ 出展者のプロフィール

1977年東京都生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。『NEW DIMENSION』（赤々舎）、『POLAR』（リトルモア）により、日本写真協会賞新人賞、講談社出版文化賞。『CORONA』（青土社）により土門拳賞、『EVEREST』（CCCメディアハウス）、『まれびと』（小学館）により日本写真協会賞作家賞を受賞。著書に、開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険家』（集英社）ほか多数。最新写真集に『K2』（小学館）、『チョ・オユー』（平凡社）、『Nanga Parbat』（SLANT）など。

- ・ウェブサイト <https://straighttree.com/>
- ・Instagram @straighttree8848



■ 写真展併催イベント

1. ギャラリートーク（参加無料、予約不要）

8月31日（日）、9月8日（月）各日13:00から・30～40分間

お 話：石川直樹氏

※ 写真展会場内で実施、座席はございません。予めご了承ください。

2. 写真展開催記念 アーティストトーク（参加無料、要申込）

テーマ：「ヒマラヤへの長い旅」

日 時：9月3日（水）18:00～19:30（受付 17:30～）

会 場：フジフィルム スクエア 2F特設会場（座席あり）
（フジフィルム スクエアよりご入場ください）

お 話：石川直樹氏

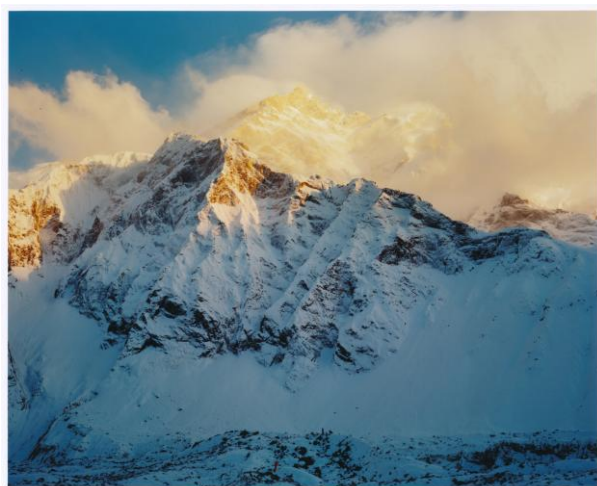
※ 座席は自由で、当日受付順に会場にご入場いただきます。

【予 約】

要申込、ウェブサイト、電話にて8月5日（火）10時より受付開始予定、
詳細は7月中旬頃フジフィルム スクエア ウェブサイトに掲載予定。

※ 写真展・イベントはやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。

■ 出展作品の一部（予定）



©Naoki Ishikawa



©Naoki Ishikawa



©Naoki Ishikawa



©Naoki Ishikawa

[写真使用についてのお願い]

- ①本写真展の告知以外にはご使用にならないでください。また、使用終了後は、写真データを破棄ください。
②トリミングはお控えください。③クレジット表記がある場合は明記ください。④写真の上に文字は載せないでください。

FUJIFILM SQUARE

写真を中心とする富士フィルムのフォトギャラリー&ショップ。入館無料で、どなたでもお気軽にご覧いただけます。クオリティの高いさまざまなジャンルの写真を展示する富士フィルムフォトサロン、写真とカメラの歴史を学べる写真歴史博物館の他、最新の富士フィルム製品をご体験いただけるコーナー、さらには、スキンケア・サプリメント商品の販売を行うショップもあり、幅広い層の方にお楽しみいただける施設です。年中無休（年末年始を除く）、入館無料。



**THIS IS MECENAT
2024**

富士フィルムフォトサロンは、2024年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2024」の認定を受けております。